

課題の内容、提出期限が当初案から一部変更 しましたので、御確認ください。

【専門研修の課題について】

1 課題書式

A4判縦長，横書き両面印刷 1枚程度（上下左右余白20mm，1行文字数45字，行数は自由，資料等については過度の縮小を避ける）

受講番号（8桁）のみを記入し，学校名・氏名は記載しない。

2枚以上の場合は綴じる。

令和2年度 ○○-○ ○○○講座○○○○コース研究協議資料

受講番号は，受講可否通知にてお知らせします。ただし，5年経
験者研修対象者は，5年経験者研修の受講番号を使用します。

テーマ	○○○○○○○○○○ - (副題) -
1 ○○○○ 2 ○○○○ 3 ○○○○ 4 ○○○○ :	章立て <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 個人情報の取り扱いに十分留意し，特に幼児児童生徒の個人名及び男女の区別は記載しない。 </div>

班名は，事前に指示があった場合のみ記入する。

2 課題一覧

課題の作成及び送付に当たっては，必ず「1 課題書式」及び「3 送付先」の指示に従ってください。

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
52-A 国語科講座 小中学校コース	習得と活用を明確にした「読むこと」についての実践報告書 ※実践報告書(過年度実践可)	1 単元名と実践学年 2 単元目標 3 単元の評価規準 4 指導と評価の単元計画 5 本時の指導 6 単元の目標達成のために行った手だてや工夫 7 成果と課題	7月21日(火) 3部 ※講師送付用	8月25日(火) 30部
			【課題作成上の留意事項】 ※章立て変更可 ※何を習得させ，どのような活用の場を設定したか，分かるように記述する。	
52-B 国語科講座 高等学校コース	I 学習領域「話すこと・聞くこと」の指導の工夫 話す力を育成するための単元計画についてまとめる。 ※課題を事前に提出し，当日持参する。 話す力を育成するための授業計画を構想する。 ※課題の提出及び持参の必要なし。 II 学習領域「読むこと」の指導の工夫 「バグダッドの靴磨き」(米原万里)において，何を教えたいかについて検討するため，事前に本文を読み，考える。 ※課題の提出及び持参の必要なし。	テーマIについて 1 単元名 2 対象生徒 3 身に付けさせたい力(話す力) 4 言語活動 5 教材 6 単元における指導の概要 7 ルーブリック ※5は，「地域の抱える問題に関する教材」を扱う。 ※6は，各時間に生徒がどのような学習活動を行うのかが分かるように記載する。 話す力を育成するための授業計画を構想しておく。実践例があれば，話し合いができるよう，準備しておくこと。	7月3日(金) 3部 ※講師送付用 事前送付不要	8月18日(火) 45部 当日持参不要
			【課題作成上の留意事項】 1 事前提出・当日持参とも印刷物はすべてA4判とする。 単元計画については，縦長・横書きで1枚程度にまとめる。 添付するワークシート等については，横長・縦書きでよい。 左上をホッチキスで綴じる。 II 「バグダッドの靴磨き」については，以下の教科書・書籍に収録されている。当日持参する。 ○「新編現代文A」 ○「現代文B」 ○「標準現代文B」(以上 第一学習社) ○「それでも私は戦争に反対します」(平凡社 日本ペンクラブ編) ○「米原万里ベストエッセイI」(角川文庫)	

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
53-A 社会科講座 小中学校コース	社会科の指導の工夫 ※本年度過年度の実践または実践予定の学習指導案	1 単元名と実践学年 2 単元の目標 3 本時の目標 (本時○/○時間を明記) 4 学習指導案 (授業の流れ) ※本時の目標の達成のために工夫をした児童・生徒の活動や指導上の留意点の箇所に太い下線を入れる。 5 成果及び今後の課題	7月16日(木) →7月22日(水)～変更 6部	8月19日(水) 小学校40部 中学校30部
53-B 社会科講座 高等学校コース	〇〇(実践科目名)の指導の工夫 ※本年度の実践または実践予定の学習指導案(過年度の実践でもよい)	1 単元(主題)名と実践学年 2 単元(主題)の目標(全○時間を明記) 3 (1) 本時の目標(本時○/○時間を明記, 単元(主題)の山場の1時間を抽出) (2) 教材 4 学習指導案(本時の指導計画) 5 評価規準 6 手だてと工夫(本時の目標の実現のために, どのような手だてを用い, 工夫をしたか) 7 成果及び今後の課題	7月16日(木) 7月22日(水) 4部	8月21日(金) 40部
54-A 算数・数学科講座 小学校コース	数学的活動を通じた授業づくり ※本年度の実践または実践予定の学習指導案、もしくは過年度実践の学習指導案	1 単元名と実践学年 2 単元の目標 3 本時の目標 4 指導過程(授業の流れ) ※本時の目標の達成のために工夫した児童の活動や指導上の留意点の箇所に太い下線を入れる。 5 工夫した数学的活動の実際 6 成果及び課題	7月8日(水) 3部	【尾張・海部教育事務所管内の対象者】 7月22日(水) 50部 【知多・西三河・東三河教育事務所管内の対象者】 7月27日(月) 50部
54-B 算数・数学科講座 中学校コース	数学的活動を通じた授業づくり ※本年度の実践または実践予定の学習指導案、もしくは過年度実践の学習指導案	1 単元名と実践学年 2 単元の目標 3 本時の目標 4 指導過程(授業の流れ) ※本時の目標の達成のために工夫した生徒の活動や指導上の留意点の箇所に太い下線を入れる。 5 工夫した数学的活動の実際 6 成果及び課題	8月3日(月) 3部	8月26日(水) 50部
54-C 算数・数学科講座 高等学校コース	数学的活動を通じた課題学習について	※章立ては自由であるが、授業展開が分かるように「導入」「展開」「まとめ」のように分けて、指導内容、発問内容、指導形態等を書く。 ※家庭等での調べ学習を取り入れたり、複数時間にわたったりするような課題学習を提案する場合は、その展開が分かるように書く。 ※総合教育センターの算数・数学のウェブページを参考にする。	7月13日(月) 3部	8月3日(月) 48部

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着) 部数	講座当日 持参部数
55-C 理科講座 高等学校コース	理科における授業実践または教材開発 ※本年度の実践または実践予定の学習指導案 ※題名は各自 30 字以内で付けること。30 字を超える場合は副題を設けてもよい。	1 はじめに 2 実践の目的 (または、教材開発の目的) 3 実践の方法及び内容 (または、教材開発の方法及び内容) 4 実践のまとめと考察 (または、教材開発のまとめと考察) 5 今後の課題 ※A4判縦40行、横45字、両面印刷2枚(4ページ)以上4枚(8ページ)以内 1 実践 (または教材開発) の目的 2 実践 (または教材開発) の準備及び方法 3 実践 (または教材開発) の結果 4 実践 (または教材開発) の考察 5 まとめ ※A4判縦40行、横45字、両面印刷2枚(3~4ページ程度)でまとめる。	8月5日(水)	8月19日(水) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 提出方法、提出先、部数等については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 </div>
56 生活科講座	生活科における授業改善 ※1学期の実践単元の学習指導案(評価計画を含む) ※評価計画を含む単元の学習指導案 ※過年度実践または、実践予定も可	1 学年、単元名 2 単元目標 3 単元の評価規準 4 本時の指導 5 成果と課題 ※章立ては変更可	事前送付不要	8月25日(火) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 部数については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 </div>
57-A 保健体育科講座 小中学校コース	保健体育に関する質問 ※体育経営などの授業以外の範囲も含む(部活動は除く) ※当日に質問を行うこととする。	自由形式(項目立ても可) ※「評価について」というような漠然とした事柄を書くのではなく、教えてほしい事柄を具体的かつ簡潔に文章で書き示す。文末に「？」を付すなど質問でき、内容が分かるように。 ※質問の個数、分量は問わない。A4判片面1枚。	7月1日(水)	当日持参不要 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 提出方法、提出先等については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 </div>
57-B 保健体育科講座 高等学校・特別支援学校コース	保健体育に関する質問 ※体育経営などの授業以外の範囲も含む(部活動は除く) ※研修当日に質問を行うこととする。	自由形式(項目立ても可) ※「評価について」というような漠然とした事柄を書くのではなく、教えてほしい事柄を具体的かつ簡潔に文章で書き示す。文末に「？」を付すなど質問内容が分かるように。 ※「評価について」というような漠然とした事柄ではなく、教えてほしい事柄を具体的かつ簡潔に質問できるようにしておく。 ※質問の個数、分量は問わない。A4判片面1枚。	7月1日(水) 事前提出不要	当日持参不要 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 提出方法、提出先等については、6月中旬に総合教育センターウェブページに掲載される「専門研修における追加連絡」を御覧ください。 </div>

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
60 小学校外国語講座	<p>1 コミュニケーション能力の育成に向けた授業の工夫</p> <p>※A4判両面1枚以内とする。</p> <p>2 小中・小中の連携について質問事項を考えておく</p> <p>※当日は、右記の内容を基に、グループ協議を行う。</p>	<p>1 コミュニケーション能力の育成に向けて、普段の授業で取り組んでいること(具体的な指導例を示す)</p> <p>※章立ては自由。指導案形式でもよいが、下記のことについては必ず触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名 ○ 単元目標 ○ 本時の展開(児童の学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法等) ○ 成果と課題 <p>2 小中接続の観点から、地区の小学校・中学校で連携していること、あるいは、今後連携していきたいこと</p> <p>※2は提出の必要なし。</p>	<p>課題1のみ</p> <p>6月22日(月) →6月26日(金)～変更 4部</p>	<p>課題1のみ</p> <p>7月27日(月) 30部</p>
61 英語科講座	<p>1 コミュニケーション能力の育成に向けた授業の工夫</p> <p>※A4判両面1枚以内とする。</p> <p>2 中学校・高等学校の連携について質問事項を考えておく</p> <p>※当日は、右記の内容を基に、中学校・高等学校混合でグループ協議を行う。</p>	<p>1 コミュニケーション能力の育成に向けて、普段の授業で取り組んでいること(具体的な指導例を示す)</p> <p>※章立ては自由。指導案形式でもよいが、下記のことについては必ず触れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 単元名 ○ 単元目標 ○ 本時の展開(生徒の学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法等) ○ 成果と課題 <p>2 (1)英語科として、中学校と高等学校で連携していること(あるいは、今後連携していきたいこと)</p> <p>(2)中学校から高等学校、あるいは高等学校から中学校の英語科教員に聞きたいこと</p> <p>※2は提出の必要なし。</p>	<p>課題1のみ</p> <p>6月22日(月) →6月26日(金)～変更 4部</p>	<p>課題1のみ</p> <p>7月27日(月) 30部</p>
62 技術科講座	<p>これまでに授業で扱った教材(ジグは除く)または生徒の実態にあわせて開発やカスタマイズした教材とその教育効果について</p> <p>※実践報告書(過年度実践可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 題材名 2 題材目標 3 題材構想 4 本時の目標 5 本時の展開 6 評価 7 成果と課題 	<p>6月30日(火) 5部</p>	<p>7月30日(木) 15部</p>
63-A 家庭科講座 小中学校コース	<p>題材開発と指導の工夫</p> <p>※実践報告書(過年度実践可)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 題材名(対象校種・学年) 2 題材構想 3 指導の工夫 4 成果と課題 5 その他(質問など) 	<p>6月30日(火) 4部</p>	<p>7月31日(金) 22部</p>

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着)部数	講座当日持参部数
63-B 家庭科講座 高等学校コース	高等学校新学習指導要領解説家庭編の趣旨を踏まえた授業の工夫 ※実践報告書 (過年度実践報告可)	1 実践学年・教科(科目)名 2 教科書及び使用教具 3 単元名 4 単元目標 5 単元の評価規準 6 単元の指導計画 ◆配当時間と本時の位置付けを示す。 7 本時の目標 8 本時の展開(生徒の学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法、評価基準) 9 成果と課題 ※共通教科「家庭」、専門教科「家庭」科目を問わない。	7月10日(金) 7月16日(木) 1部 ※授業で使用したワークシート類も併せて送付する。	7月30日(木) 15部 20部 ※授業で使用したワークシート類も併せて持参する。
64 情報科講座 ※高等学校5年経験者研修対象者のみ、課題あり	新学習指導要領を見据えた授業実践事例の報告、その成果と改善案	※章立ては自由 ※授業展開が分かるように、題材名、目標、指導内容、指導形態など、簡潔な指導案として記載 ※複数の時間にわたる単元等を取り上げる場合は、全体の流れが分かるように記載 ※成果と改善案を明記	8月17日(月) 4部	8月25日(火) 20部
65 農業科講座	農業科における「深い学び」を取り入れた授業の実践報告 ※実践した報告または実践予定の報告	1 「深い学び」を取り入れ授業の学習指導案 ◆「深い学び」を取り入れるために、工夫した指導の箇所に下線を引くなど分かりやすく示す。 2 上記の授業を実践した成果と今後の課題	7月20日(月) 4部	8月20日(木) 7部
66 工業科講座	教科指導上の課題と方策	1 今までに実践した授業改善の事例(具体的実践事例) 2 今までに取り組んだ(開発・作成・改善した)実習テーマの事例 3 今後取り組みたいテーマ	7月15日(水) 3部	7月29日(水) 20部
70 福祉科講座	高等学校新学習指導要領解説福祉編の趣旨を踏まえた授業の工夫 ※実践報告書 (過年度実践報告可)	1 実践学年・教科(科目)名 2 教科書及び使用教具 3 単元名 4 単元目標 5 単元の評価規準 6 単元の指導計画 ◆配当時間と本時の位置付けを示す。 7 本時の目標 8 本時の展開(生徒の学習活動、指導上の留意点、評価の観点、評価方法、評価基準) 9 成果と課題	7月31日(金) 8月6日(木) 1部 ※授業で使用したワークシート類も併せて送付する。	8月21日(金) 6部 ※授業で使用したワークシート類も併せて持参する。

講座名	テーマ	章立て	提出期限(必着) 部数	講座当日 持参部数
73 保育技術講座	1日目 子どもの発達や遊びを支える保育者の援助や環境の構成	1 具体的な子どもの姿(乳幼児の年齢(月齢)・時期・活動の様子など) 2 一人一人(あるいは、友達との関係の中で)の発達や遊びの姿に対する捉え、子ども理解 3 保育者が行った子どもの発達や遊びを支える援助や環境構成 4 保育者が関わった後の子どもの姿から読み取れる発達及び子ども理解 5 保育者の関わりに対する評価及び振り返り ※章立ては変更可。必ず、A4判両面1枚以内に簡潔にまとめる。 課題の事例を読み、以下のような観点から読み取ったことをまとめる。 1 一人一人の具体的な子どもの行動や言葉に着目し、その姿から子どもの気持ち、興味・関心、保育者や友達との関わり等の意味を読み取る。 2 子どもの姿の読み取りから一人一人の発達を捉える。 3 保育者が行った子どもの発達や遊びを支える援助や環境の構成を捉える。 4 保育者が関わった後の子どもの姿から読み取れる発達及び子ども理解。 ※A4判縦長横書き(両面印刷で1枚にまとめる)	7月9日(木) 3部	8月6日(木) または 8月7日(金) 8部 6部 ※研修参加日に持参する

※課題の作成に当たっては、教科(科目)等の指示がある場合を除き、必ず「1 課題書式」(p.48 参照)に従ってください。

3 送付先


〒470-0151

愛知県東郷町大字諸輪字上鉾68番地

愛知県総合教育センター研修部企画研修室

※郵送料削減のため、他の研修・講座で来所する同所属の教職員による直接提出についても受け付けます。この場合は、研修部企画研修室（総合教育センター本館4階）へお越してください。

必ず朱書きしてください。

	470-0151	愛知県東郷町大字諸輪字上鉾六八番地
「○○講座」	研修部 企画研修室 行	愛知県総合教育センター
○○コース課題」		
在中		